

## 従軍慰安婦という悪質な虚構

(四)

従軍慰安婦をテーマに、歴史的事実に基づいて論じていきます。先月号では、軍によって強制連行され、売春を強いられたという【従軍慰安婦】などという事実は無かったことを証明しました。【従軍慰安婦の問題】は、日本を侮辱に貶めようとする悪質な虚妄だったのです。さて、今月号では問題を更に掘り起こし、★マイク・ホンダという人物。★アメリカ兵士の性処理。★河野(洋平)談話などについて述べていきます。

☆【軍は売春業者を厳しく取り締まっていた】

多くの人が様々な努力をして調査を重ねましたが、日本軍が売春施設の設置に関わった資料は未だ一片も発見されていません。中央大学教授の吉見義明氏が「軍慰安所従業婦募集に関する件」という資料を発見したことがあります。これで従軍慰安婦問題は決定的になったと報じたのが、日本の朝日新聞でした。ところがこの資料をよく読んでみると、日本国内で売春婦を斡旋する業者が軍

の名を騙って女性を集めている。これは軍の威信に関わることだから、業者を厳しく取り締まらなければならぬ」という内容でした。従軍慰安婦を証明するどころか、日本軍が全く関与していないことを証明する資料となりました。にもかかわらず、近年ニューヨークタイムズの記者が、朝日新聞に出た吉見氏の話を強制連行の証拠としてあげている始末。こういうマスコミのインチキ記事が世界を動かしている事実を心得ておかなければなりません。

☆【一般女性を暴行するのは戦争犯罪】

ところで日本軍は本当に、戦場における売春宿に関わっていないのか？厳密に言えば、詳細な調査で一件だけあったことが分かっています。インドネシアで、ある軍人がオランダ人女性に暴行し、この女性を日本軍相手の売春婦にしていたのです。もっとも、これを知った日本軍は直ちにその軍人を処罰しています。おまけに、戦後この軍人はB級戦犯として死刑になっています。戦争犯罪を行ったのだから当然だろうと思います。つまりこの件も、戦場における売春宿に軍が関わっていないことを示すものとなるでしょう。

☆【アメリカの世論を操る黒幕は、中国政府】

日本は全く根拠のない材料で、耐え難い汚名を着せられようとしています。【慰安婦の人権の擁護】と題する従軍慰安婦に関する決議案が、アメリカ外院に提出されました。決議案を出したのはカリフォルニア州選出のマイク・ホンダという外院議員です。彼の経歴を見ると、戦時中日本の捕虜になった米軍人への補償と謝罪を、日本に要求する決議案を再三にわたって提出するなど、反日的活動が目立ちます。

マイク外院議員の資金源を辿ると：マイク議員に献金している団体の大部分は中国系の団体なのです。資金源が分かると、中国の意を受けて動いている事が読めます。中国は南京事件を材料にして日本非難を繰り返し、次には靖国参拝問題でイチヤモンをつけ続け、今度は従軍慰安婦問題というわけです。この流れを見れば、反日は中国政の一貫した国策なのだと思得ねばなりません。ホンダ外院議員はその流れを担って動いていると断じていいでしょう。人道主義がどういふものかは知りませんが、アメリカが軽率にこの策謀に乗って議会という公式の場で【従

軍慰安婦問題】を取り上げるといふのなら、そういうアメリカはどうなのかを問わねばならないでしょう。

☆【アメリカ兵士の性処理問題】

先の大戦後、アメリカは日本を占領し、軍隊を進駐させました。その時アメリカ兵士の性処理をどうしたのでしょうか？その当時、進駐軍が東京都に対していち早く発した命令書が資料として残っています。どんな命令だったのか？その内容は：東京都が女性を集め、進駐軍兵士のための売春所を設置するように命じたものでした。アメリカの業者が、アメリカ人売春婦を集めて日本へ来日させ、売春所を作れと命じたものではありません。一方の日本軍は兵士達の性処理のために、日本や朝鮮の売春業者が抱えている売春婦を連れてきて、占領地で商売することを認めました。その理由は、占領地女性の被害を防ぐ事と、性病対策でした。

(※詳細は先月八月号を検索)

売春という非人道的なものが土台になる話です。所詮は目くそ鼻くそを笑う類を出ることでないですが、それでも問わなければなりません。日本軍の処置と、米国軍の処置と、

一体どちらが人道的でしょうか？

☆「アメリカの非人道性を傍証する」

ここでアメリカの非人道性を傍証する資料をご紹介します。

アメリカ太平洋艦隊司令長官スプ

ールアンズ提督の回顧録によれば、

日本が降伏すると艦隊は横須賀に入港し、水兵達は上陸しました。すると起こったのが、水平による日本人

一般女性への暴行強姦だったので

す。これは報道管制によって報じられることがなかったため、公に知ら

れる事はありませんでしたが、連日

連夜、大変な数に上ったようです。

それを証拠に、《これでは軍紀(軍隊の風紀と規律)が保てない》と嘆

いた提督は、横須賀市に売春所を作るように命じたのでした。当然この

売春所も、アメリカから女性を連れてきて売春所をつくったのではあり

ません。日本人女性を集めて作らせ

たのです。すると一般人女性の被害は目に見えて減っていききました。と

ころがアメリカ人の牧師がこんな非

人道的なものはないと非難し、売春所の営業を停止させました。すると

再び、水兵達による暴行強姦が急増

し、多くの一般人女性が被害に遭う

ことになってしまいました。かくの如

しです。アメリカが人道の守護神のよ

うに、「慰安婦の人権擁護」を決議する資格など無い！という事が、ご理解

いただけた事と思います。

☆(河野(洋平)談話)

従軍慰安婦の問題は韓国と北朝鮮の反日教育や宣伝があつたとはいえ、世

界各地に広まり、かなりの度合いで事実として信じられているのはなぜか？

従軍慰安婦に反撃し、問題のスッキリした解決を図ろうとすると、立ちほだ

かってどうにもならない問題、それが

河野談話なのです。

河野洋平といえ、宮澤内閣で官房

長官を務め、強制連行や従軍慰安婦に

対する韓国からの非難に、政府の要人が官房長官の名において軽率にも謝罪

したので。謝罪したという事は、強

制連行し、従軍慰安婦を事実として認めたとのことです。以来、韓国では

誤解が誤解でなくなり、事実としてま

かり通ることになってしまったのです。国際社会も事実として受け止めたのは

当然の事です。強制連行された「従軍

慰安婦」は、国際人権委員会の議題として取り上げられる始末です。日本は

人権について問題のある国というレッ

テルが国際社会に張り付くようになってしまいました。

河野氏は平成十五年(平成二十一年の九月二十一日まで衆議院議長として、

三権分立の一角を占める立法院のトツ

プの位置にいた人物です。また、議員

生活を終えた二年後の平成二十三年秋の叙勲にて「桐花大綬賞」を受賞して

います。そういう人物が「官房長官時

代に過ちを犯した。強制連行されたという従軍慰安婦について謝罪した私が

間違いだつた。そういう事実は無かつた」と釈明すれば、国際社会では日本

の人権についての認識が改まる事は確か

かでしょう。ところが何をトチ狂つたか、官房長官の任にあつた河野洋平氏

が韓国に対して、『従軍慰安婦問題』

について謝罪してしまつたのです。河野談話は日本が公式に、『従軍慰安婦

の強制連行という虚妄を認めた』こと

に他なりません。外国からすれば、日本は公式に強制連行を認めておきながら、あれこれ言うとは何事だ、という

話になってしまふのです。河野談話によつて、従軍慰安婦問題は決定的にな

つてしまいました。

河野談話がある為に、安倍(晋三)首相も綱渡りのようなコメントを発せ

ざるを得ない羽目になっていきます。

局面がここまできたら、従軍慰安婦

問題を根本からスッキリさせ、日本

の汚名を払う方法は一つしかありません。

河野氏自身が、あの談話は間違

いだつたと表明して撤回し、日本を損ねた罪を詫びること以外にはあ

りません。そうなれば、安倍首相に

しても何の手続や答弁も必要なく、「河野談話は、本人が証言している

通り、誤りだつた」とおっしゃれば

いいだけの事となるでしょう。

(来月号に続く...)

合掌 副住職 谷川寛敬

